



No.520

2018.1.9

KINZOKU DANCHI NEWS Since1974

金属団地ニュース





謹 賀 新 年

岐阜県金属工業団地協同組合

理事長 今井 哲夫

新年あけましておめでとうございます。組合員の皆様には、決意も新たに新しい年をお迎えになられたことと思います。今年が良き年になることを心から祈っております。

さて、景気動向はどのようになっているのかという事ですが、平成24年12月の安倍内閣の発足と同時に景気拡大が始まり、5年の長期に亘って景気拡大局面が続いているようです。バブル景気(昭和61年12月～平成3年2月)の51ヵ月も上回り、戦後2番目の景気拡大局面で高度経済成長を謳歌した「いざなぎ景気」(昭和40年11月～昭和45年7月)の57ヵ月をも上回ったと言われていています。ちなみに戦後1番の最長景気拡大期(平成14年1月～平成20年2月)は73ヵ月(景気拡大の実感がない景気拡大)だそうです。今回の景気拡大は1.大胆な金融政策、2.機動的な財政政策、3.民間投資を促す成長戦略の「三本の矢」をアベノミクスの中心に据えて、第一の矢として日銀の大規模な金融緩和で円安が進行し、輸出関連企業を中心に企業業績は回復、第二の矢として大型経済対策などで景気の下支えを図り、有効求人倍率はバブル期を超えるなど雇用情勢も改善し、株式市場は、日経平均株価が11月7日に22,937円と1992年1月以来25年10ヵ月ぶりにバブル崩壊後の最高値を超えました。GoogleやFacebookといった新しい企業が日本では既得権益による規制が厳しかったりして、なかなか生まれにくい。そこを変えていこうというのが第三の矢です。規制緩和等によって民間企業が実力を発揮できる社会を目指します。具体的には①企業の投資を促し、民間活力を最大限に引き出す。②女性、若者、高齢者等の人材の活用の強化。③世界共通の課題に取り組む中での新たな市場の創出。④日本企業の対外進出や国内投資の拡大を通じた世界経済との統合の推進。これが第三の矢です。3本の矢で最も期待されながら遅れをとっているのが、第三の矢です。しかしながら、第一・第二の矢によって日本経済の景気拡大局面は続いています。

さて、2018年はどうなるのでしょうか。米国経済は、緩やかな拡大基調を維持、減税やインフラ投資が行われれば、2018年以降に経済成長率が加速する可能性が高いようです。ユーロ圏経済は、雇用・所得環境の改善を背景に消費が増加し、緩やかな回復が続くと予想されています。英国のEU離脱の懸念もありますが、企業活動は緩やかな拡大を続けるようです。新興国経済は、中国経済が底堅く推移していて、資源価格の回復で資源国経済が好調なこと、などから堅調に推移し、緩やかな回復が続くようです。ただし、世界経済は、次の3点が先行きに対するリスクとみられています。

- ①トランプ政権の政策運営の停滞：内政が行き詰まり、保護主義化が強まれば貿易の停滞により世界経済活動が下押しされる。
- ②米国利上げ加速による新興国経済の下振れ：トランプ政権が主張する大幅な減税やインフラ投資が実現した場合は、インフレ抑制に向け、FRBの利上げ加速による長期金利の上昇が、新興国からの資金流出を招き、景気の下押しが懸念される。
- ③地政学リスクの高まり：シリア情勢、北朝鮮情勢による地政学リスクによる悪影響が出て来る。以上3点から目が離せません。

日本経済は、世界経済の緩やかな回復による輸出・生産の回復持続、雇用・所得環境の改善を背景に消費も緩やかに回復することが予想されます。2017年は衆議院総選挙があり、政権与党が過半数超えの2/3の議席を獲得、安定政権が今後も続くことから、第三の矢を完成させて、我々中小零細企業にもアベノミクスの成果が享受出来る事を願います。2020年東京オリンピックの追風を受けて、日本経済絶好調の声が聞ける2018年になることを期待しています。

今年も明るい話題を共有できるように、組合員と組合が丸一となって事業に取り組んで参りたいと思っております。皆様方にも更なるご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



ご挨拶

衆議院議員 武藤 容治

平成30年の新春を迎えるにあたり、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。岐阜県金属工業団地協同組合の皆様におかれましては、新年を健やかに迎えられましたこと、心よりお慶び申し上げますとともに、各務原経済に大きく寄与し、地域貢献を目指す組合の役員はじめ会員各企業、関係者皆様に対しまして心より感謝と敬意を表します。

昨秋の選挙では多くのご支援を賜り、前回は大きく越える127,308票のご信任をいただき4回目の国政に上がらせていただきました。ご厚情ご高配に御礼申し上げます。

我が国を取り巻く安全保障環境への対応や財政再建などの課題が山積する中、人口減社会であっても活力ある社会を実現し、明るく誇り高い日本を次世代へ引き継げるよう、皆様からの負託をしっかりと受け止め、責任を果たしてまいります。

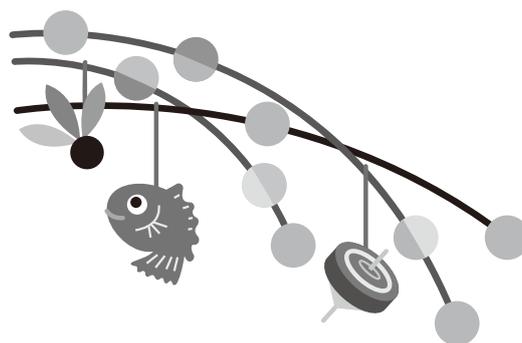
この度、引き続き、経済産業副大臣並びに原子力災害現地対策本部長として内閣府副大臣を拝命しました。こうした立場で働かせていただけるのも、皆様からのご支援や選挙の結果があってこそです。政府の一員として、驕ることなく、経済政策を一層力強く前に進めてまいります。

地域の活性化を図る地方創生を軸に、省庁間の横断的な政策のもとで地域の様々な資源を活用・発展をさせるとともに、日本企業の海外市場進出を促進するTPPや日・EU経済連携協定などに取り組み、地域経済の主役である中小企業・小規模事業者や農業従事者の方々にも経済成長を実感していただけるよう結果を出してまいります。

経済の拡大に伴い、担い手確保・育成が急務です。事業承継制度を大胆に見直し、働き方改革やイノベーションを活用した生産性向上によって、女性や若者が働きやすい魅力的な環境をつくり、高齢者が積極的に社会参画できる健康長寿社会を目指します。

2020東京オリパラまで3年となりました。オリンピック後の新たな日本社会へ飛躍するための大事な時期です。皆様からのご指導ご鞭撻を賜り、粉骨砕身精進してまいります。

結びに、皆様にとって、実り多い一年であることをご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。今年もよろしくお祈りいたします。





ご挨拶

各務原市長 浅野 健 司

あけましておめでとうございます。

岐阜県金属工業団地協同組合の皆様、並びにそのご家族の皆様には、健やかな新年をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、日頃は市政発展のためにご理解、ご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本市は航空宇宙産業をはじめ、自動車産業、工作機械製造、金属加工、プラスチック製品などの「ものづくり」が盛んなまちとして、長年にわたり製造品出荷額等は岐阜県下トップを誇っています。中でも、岐阜県金属工業団地は日本で最も歴史のある工業団地のひとつであり、中小企業である強みを活かした経営で、顧客のニーズを敏感に感じ取り、未来を見据えた対応力と高い技術力により、長きにわたり本市の産業の発展にご尽力いただいておりますことに深く敬意と感謝の意を表します。

昨年、市役所の組織の一つに「企業人材全力応援室」を新たに設置し、人材確保や採用力強化などの支援に力を入れています。これは、人口の減少により働く人そのものが不足している中、近年、本市の有効求人倍率も高い値で推移しており、市内企業の人材確保が喫緊の課題であることが背景にあります。市内には高い技術力を持った、キラリと光る魅力的な中小企業が多くあります。就職を希望する学生に企業の業務内容や魅力を伝え、企業と就職を希望する学生や学校を繋いでいく役割を市が担い、市内企業の人材確保を支援し、まちの活性化に繋げていきます。その具体例の一つとして、岐阜工業高校や中部大学、大分県にある日本文理大学と協定を結び連携を強めました。今後も地道に、そしてより効果的に、市内企業の魅力を学生や学校に伝え、企業との連携のもと、企業見学やインターンの受け入れなどにも力を入れていきます。

また、新たな取り組みとして、経済産業省が進めている「地方版IoT推進ラボ」に本市が選定されました。今後は、このラボを活用し、まずは産業用ロボットの高度化や普及促進を通じて製造業のIoT化を促進します。そして、将来的にはこのラボをIoT推進のための総合支援拠点と位置づけ、ものづくりの生産性向上からサービス業、農業、観光業など、あらゆる面でIoT化への取組を支援していきたいと考えております。

本市は、すべての人がしあわせを実感でき、笑顔があふれる元気なまちの実現を目指し、市民の皆様と対話を重ねながら、まちの未来への想いを共有し、ともに創り、育みながら様々な施策を進めてきました。10年・20年先の各務原市がさらに元気で輝き続けるために、未来に向けてまいた多くの種が芽を出し、しっかりと根づいてきました。芽を育み、幹を太くし、そして力強く伸ばしていく、次のステージへと着実に歩みを進めています。どうぞ、皆様方には引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして、伸びゆく年となりますことを心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。



(株)山村製作所 山村 修一

新年あけましておめでとうございます。
旧年中は一方ならぬご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。
私、昭和9年生まれ、7回目(83才)の年男となり、家族とともに元気に新年を迎えられる事、本当に感謝しております。
先日、孫が修学旅行のお土産に、「おじいちゃんのお守り」を買ってきてくれました。

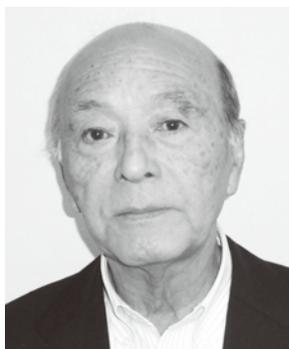
1. いつも健康でいてね…(会社に出勤します)
 2. 車や自転車に注意してね…(通勤に気をつけます)
 3. 体を動かす事を忘れないでね…(仕事をします)
 4. 楽しい事をたくさんしてね…(ゴルフ・旅行に行きます)
- まだまだ、若い社員と共に元気に体を動かします。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。
皆様のご健康とご繁栄を心よりお祈り申し上げます。



共設機械精工 貝川 正幸

すがすがしい新年をお迎えのことと思います。金属団地にお世話になり54年、グラウンドに大型テント数張を建て関係者、元地権者を招待して賑やかな創業祭、昭和40年9月皇太子殿下(平成天皇)が当団地を視察になられたこと、金属団地の運動会、盆踊り大会、野球、ソフト、バレーボール、卓球、ボウリング大会等各企業の交流、記念行事による牛1頭丸焼き、油流出により翌朝にわたる回収作業など、また先の大戦による胸にタマが残っている社長さん、腹部貫通銃創の方、学徒出陣を体験された社長さん、外地引き揚げ時、木々の皮がはがされその時一番うまかったのが革靴だと言われた方など、その様な話を聞くのはなくなりましたが、先代の築かれた豊かで平和な時代が続くことを願います。週末には草取り、石コロ拾い、種まきなど農作業をしています。元気なうちは少しでもお役にたてればと思っています。



常盤工業(株) 山内 宏泰

新年あけましておめでとうございます。
72才6回目の年男を迎える今日迄、名古屋、神戸の学生時代、工作機メーカーでの研修、自社関連会社の東京勤務、そして今日金属工業団地の一員として関係企業の皆様からのご支援のもと、各種産業機械の製造販売を業としております。会社創立は戦後の昭和23年、父が戦後の復興に貢献しようと建築木工用の汎用機制作を始めてから今年ですでに70年となりますが、時の流れと共に今では工作機・半導体関連装置、焼成炉他各種専用機の製造がウエイトを多く占めるようになりました。産業構造の激しい変化の波が押し寄せる今日又この先、如何に対応を為してゆくかはのちの世代に託さねばならない頃かと日々思うようになった今日この頃です。もう少しの間は団地の皆様のお仲間としてご指導お付き合いの程よろしくお願い申し上げます。今年1年私よりご先輩の方を始め皆様方がご健康でご活躍されますようご祈念申し上げます。



丸嘉工業(株) 土田 英治

『年男の初夢』

歲月人を待たず。光陰矢のごとし。あっと言う間に戌年の干支を迎えることになりました。

団地青年部時代に、インターネットの時代がくる、人口減少の時代がくると騒いでおりましたが、すでにその時代がやってきて、次の干支の時代にはどんな社会現象を迎えるのでしょうか。

近未来ではEV時代が到来し、IOT、AIによる第4次産業革命到来。現在の新幹線が置き換わりリニアモーターカー、更にハイパーループにて時速1200kmで走る電車。又海では10000mへ人が乗って潜水できる潜水船の開発。宇宙では宇宙旅行の実用化、ロケット乗り物で東京=ニューヨーク間を30分間で移動可能となる。人間は100歳まで生きようになり、高齢化時代にどう向き合うかの社会問題に対応が必要。2017年正月のお宮参りにおみくじを引いて大吉が出て喜んでおりましたが、今年はロボットが出てきて一年の運勢を占ってくれるかもしれませんね。最後になりましたが、金属団地では私の父親、私、弟、息子と4世代がお世話になっており、感謝申し上げます。組合員の皆様益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ、初夢とさせていただきます。



MTK(株) 松原 伸五

明けましておめでとうございます。

私は、昭和21年生れの満71才で、6回目の年男です。金属団地の工場に来て、40年。もう40年と言う感じです。その頃は、ピンピンの30才代でした。前回と今回の年男の相違は、体力の衰えです。しかし、体は健康そのものです。同年輩の人に負けまいと思い、毎日6～7,000歩の散歩で体力維持に努力しています。

特にゴルフでの目標は、1.年間平均スコア 95以下、2.ドライバー飛距離220ヤード、3.次回の年男でもプレー可能。

仕事の面では、平成初めのピークより、量的には減少していますが、量より質を求め、より付加価値のある製品を生産していきたいと思えます。

本年もよろしくお願ひ致します。



信栄ゴム工業(株) 小栗 國男

年男です。還暦です。赤いちゃんちゃんこです。

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

34歳の時にそれまで勤務していた製薬会社を退社し、信栄ゴム工業に入社しました。業種も違えば職種も違う。それまでとは全く違う景色に戸惑いや不安を抱いていたことが懐かしく思い出されます。常に前を向いて自分なりに切磋琢磨し今日まで走り続けてきましたが、まだ立ち止まることは出来そうにありません。もうしばらくジタバタいたしますので、皆様今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。



東海ダイカスト工業(株) 下村 祐介

4度目の年男を迎えます。無理を承知で、身体に鞭を打てば何でも成し遂げることができると、親の脛を齧りながら粹がっていた30代後半。

40歳で社長になってからは、好不況の波に惑わされ、経営者としての社会的責任を痛感し、様々な出逢いや別れを経験する度に、己の至らなさを知り、もがき苦しんできたような気がします。

昔ほど身体に鞭を打てなくなってはきましたが、こんな私でも気さくに相談に乗ってくださる諸先輩方や、仕事や趣味など何でも話し合うことのできる仲間たちと巡り合うことができ、おかげさまで比較的充実した48歳の年男を迎えることができました。

還暦に向けたこれからの12年、従業員の幸福を願いながら社業を発展させ、誠実な言動を心掛けて日々邁進していきたいと思えます。



(株)テクノ共栄 森田 吉久

新年明けましておめでとうございます

今年2月で48歳となり、4度目の年男を迎える事になりました。

28歳で今の会社に勤め始めた為、丁度20年に成ります。社長業も5年目となり月日の流れの速さを痛感しています。

前回の年男の時は12年後の技術的な予測を立てていましたが、書いた事はほぼ当たっています。しかし、全く予測していなかった事も多々ありました。

①リーマンショック、②東日本大震災、③スマートフォンの普及、④喫煙者への風当たりの強さ増大、etc…

仕事や家庭などの身近な物に対してはよく考えて行動している為に予測が立てやすいのだと思います。良い事、悪い事いろいろ有りますが、想定範囲内です。

東日本大震災の後から「想定外!」という言葉がよく使われるようになりました。都合のよい言葉だと思いますが、「視野が狭くて単に考えていないだけ」と暴露しているようなものです。私も当然「想定外」の出来事でした(汗)

自社や家庭の事を始めとして、自然災害や地域社会、お客様や協力会社の内情、政治、経済…次の年男までにはもっと視野の広い人間になるべくがんばっていきたくと思います。

前回の反省を踏まえて、12年後までにありそうな予測を立てておきます。

① オリンピック後の大不況(会社もたないの出来れば1回だけにしてほしい^^;)

② 大地震(東海・東南海・南海地震 連動もあるかも?)もしくは、太陽活動の低下により地球が寒冷化の方向に向かう(地球温暖化詐欺と言われる?)

③ 生体チップを体に埋め込んで、デバイス無しでインターネット接続が可能になる

④ 孫に「おじいちゃん、危ないから自分で車を運転しないで!」と怒られる(自動運転車が当たり前の時代に…自分で運転すると犯罪者扱いかも?)

⑤ 喫煙は法律で禁止され、タバコを吸ったら本当に犯罪者になる…?

幾つ当るか、次回の年男が楽しみです(笑)

本年もよろしくお願ひ致します。



油流出時訓練の実施

11月22日(水)の正午より、毎年この時期の恒例となっております油流出時訓練が、環境委員会と青年部合同で、組合研修センター裏にあります三井川を使って行われました。ここ何年も金属団地内で油流出事故は発生しておらず、組合員各社の日々の努力の賜物であると感謝致します。環境に対する世間の意識は年々厳しくなっておりますので、昼休みを使った短い時間ではありますが、油が万一流れた時を想定してこの訓練はとても大切なことであると考えます。無事故が長く続くと災害に対する意識に緩みが起こり易いです。組合員各社におかれましても、今一度油類等管理についてご確認していただきますようお願い致します。

また、訓練に引き続き青年部の方には三井川周辺のゴミ拾いを行っていただき、ありがとうございました。



団地内側溝清掃の実施

団地内側溝清掃が、12月4日(月)から3日間にわたり、組合員各企業周辺の側溝を中心に行われました。師走のお忙しい時間にも関わらず、側溝清掃にご協力をいただきありがとうございました。なお、側溝から掻き出された土砂につきましては、後日各務原市のご協力により収集されました。



12月度月例会開催

12月18日(月)の正午より組合研修センター3階集会室において、12月度月例会が開催されました。今回は講師に公益財団法人ソフトピアジャパン 理事長 松島桂樹氏と、旭鉄工株式会社 / i Smart Technologies株式会社 代表取締役社長CEO 木村哲也氏のお二人をお迎えしました。松島氏には、『ものづくり中小企業におけるIOT・ロボット活用』をテーマに、木村氏には、『中小企業でも使える常識外れのIOTモニタリング』をテーマにご講演をいただきました。



飛行場100年、岐阜基地60年

昨年11月19日、恒例の《岐阜基地・航空祭》が開催されました。4年ぶりに「ブルーインパルス」が来場、また、「レッドブル・エアレース」で世界一の栄冠を勝ち取り、ファンの間では“神様”と尊敬される室屋義秀さんの曲技飛行も披露されるとあって、会場及び周辺には1日で14万人弱の観客が訪れました。この《ブルー》&《レッド》の華麗なる共演は、「飛行場100年、岐阜基地60年」の記念すべき年の最大のショーとして企画、実現したものです。

ところで、皆さんの馴染み深いこの飛行場が、100年の歴史がある現存する日本最古の飛行場である、ということや、何故各務原に建設されたのか、ということをご存知ですか？ここからは、各務原市教育委員会から平成29年11月18日に発行された「各務ヶ原飛行場100年史」（各務原市資料調査報告書 第43号）からの引用です。

私の紹介は紙数の関係で、ほんの触りになってしまいますが、報告書は全体で120頁にもおよぶ、歴史文献・資料として素晴らしい本です。関心をお持ちの方は是非各務原市教育委員会に問い合わせ下さい。

明治12年(1879)より大砲射的場として既得してあった軍用地が飛行場用地に選ばれた理由として、障害物がなく、見晴らしの良い広大な原野が広がっていたこと。そして、この地が原野のままであったのは、各務ヶ原を成す特徴的な地形、即ち各務原台地の水利や土壌が農業に適しておらず、未開拓の時代が長く続いていたからです。その昔「各務野」と呼ばれていた時代もありましたが、《野》というよりは《原》の方が相応しかったのでしょう。大正6年(1917)完成した飛行場は「各務ヶ原飛行場」が正式名称です。昭和に入って“ヶ”を省略するようになった様です。

飛行場開場後、田畑もなく原野のみ広がる各務野に、近代化の大きな波が押し寄せました。鉄道が開通し、航空機工場が建ち並び、人口は急増し、様々な施設も整っていきました。昭和12年(1937)には川崎航空機工業(現在の川崎重工業)が大規模に移転し、戦後には進駐軍に接収されて「キャンプ岐阜」となる運命をたどります。そして、昨年、100周年の歴史を迎え、今日に至っています。

昭和32年(1957)、キャンプ岐阜の一部が返還されると、航空自衛隊の部隊が各務原に置かれることになり、木更津から第2補給処、浜松から実験航空隊と技術研究本部岐阜試験場が移転、岐阜地方警務隊・岐阜気象隊が編制されました。翌年、全面返還を受けて岐阜管制隊が編制され、岐阜基地は日本防衛のための補給・開発の拠点として昨年60周年の歴史を迎え、今日に至っています。

— 閑話休題 —





ゴミ拾い

11月22日(金)、環境委員会との合同油流出時訓練後に毎年恒例となっている、三井川周辺のゴミ拾いを実施しました。

一見すると綺麗に見えたこの三井川周辺も、意識をもって注視しながら歩いて回ると、空き缶、ペットボトル、タバコの吸い殻、弁当の容器類、その他大小さまざまなゴミが落ちていました。今回は道路でよく見かける白いラインの入った赤いポールを会員が拾い上げました。なんでこんなものがと驚く次第です。

マクロな話になりますが、地球環境を軸とした日本における環境への取り組みは官公庁・大企業を中心に広く進められています。中小企業においてもご多分に漏れず、積極的な取り組みを求められ、エコアクション21ガイドラインも昨年の5月に5年ぶりの改正となりました。

環境保全への関心が高まる昨今、職場外でも一人一人が環境美化に関心を持ち綺麗な金属団地を保ちましょう。



青年部臨時総会及び忘年会開催

12月13日(水)19時より『たか田八祥』にて青年部臨時総会が開催され、例年同様新体制を迎えるにあたり、新会長を選出しました。

柳原議長より来年度会長には現副会長の(株)杉山の^{大野}雅尚さんを推薦され、議場に諮られた結果、満場一致で大野さんに来年度の会長をお任せすることとなりました。ご挨拶として、次年度の青年部活動について、会員同士の横の繋がりや事業の見直し、定年に伴う卒業等お話頂きました。

臨時総会終了後忘年会に移り、仕事の話からプライベートな話まで、会員相互の懇親を深めました。2017年を少し振り返ると、青年部会員に資する活動として勉強会に注力し、組合青年中央会が主催する全国講習会・交流懇親会へ積極的に参加するなどして自己研鑽に励みました。

2018年は青年部活動も益々充実し、企業の経営者・次期経営者としての嗅覚を研ぎ澄まして邁進したいところです。



岐阜県金属工業団地に“若者”を呼び込む一方策のご提案! その6

今年度の求人活動を振り返る その2

前回では、工業高校の生徒たちの「企業規模(従業員数)別内定企業の状況」について述べさせていただきました。生徒たちの受験企業選択のポイントは、決して“大企業”ではないことがお分かり頂けたと思います。では、企業選択のポイントは何かのでしょうか。このことをご理解いただくと、工業高校としては専門高校等への“効果的な求人の仕掛け”ができると思います。

高校生が就職活動において、企業の“求人情報”を得る手段は『求人票』が唯一といっても過言ではありません。“企業情報”を得る手段としては、学校行事の工場見学やインターンシップがありますが、この方法では、せいぜい3、4社に留まります。後は、企業のパンフレットやHP、部活動等の先輩、学科の先生等、高校生が企業情報を得る機会は案外少なく、乏しい企業情報の中で受験企業を決めているのが現状です。(名前を知っている企業に流れがちになります。)

企業から提出される新規高卒採用のための求人票には、以下の記述欄があります。

- ①会社の情報(事業所名・所在地・事業内容・従業員数・会社の特徴等)
- ②仕事の情報(職種・求人数・仕事の内容・必要な知識または技能(履修科目等)・就業場所)
- ③労働条件(賃金の形態・毎月の賃金(基本給等)・通勤手当・手取り額・休日(休日の形態、年間休日数)等・福利厚生等・宿舍、通学等の可否等)
- ④選考(受付期間・選考場所・選考方法・担当者)
- ⑤補足事項・特記事項(補足・求人条件にかかる特記事項)
- ⑥求人連絡・推薦数と採用・離職状況

生徒たちは、求人票受付一覧表(求人データベース)を検索して、気になる企業の求人票を印刷して家庭に持ち帰り、保護者と相談して、受験希望先を2、3社に絞り、夏季休暇前の『保護者懇談会(生徒+保護者+担任)』に臨みます。ここで受験先企業のほとんどが決まります。

自社の受験に生徒を導くために、企業の採用担当の皆様にお願ひしたいのは『求人票の記述内容を充実させること。』(母親が「うん!」と言う求人票づくり)です。工業高校、専門高校に学んでいる生徒は、「自分が学び身に着けた知識や技術を活かせる仕事がしたい。」「頑張って取得した資格を活かせる仕事がしたい。」と、皆が思っています。この企業情報を的確に伝えるためには、②仕事の情報欄の記述を充実させることです。具体的な仕事内容や必要な知識等について、記述欄の80%は埋めて頂くことが重要です。そして、専門高校への求人票提出で『学科不問』はNGです。募集する“学科を指定”することが、求人一覧表で“きらりと光る”ポイントです。

次に、③労働条件です。基本給(初任給)について、結構シビアに見ています。でもご安心ください。求人票に記載されている初任給の平均は、市内企業が166,840円、岐阜・西濃地区企業が162,415円、愛知県企業が162,489円、愛知県以外の県外企業が167,002円(平成28年度に県内工業系高校に求人票を提出した企業での調査結果)と、市内企業の健闘が光っています。

母親は、企業名や従業員数の規模等を重視する傾向がありますが、生徒・保護者ともに気にするのが、③労働条件の福利厚生です。休日の形態や年間休日数、寮の有無等です。特に、家から離れて就職をする場合、高校生にとって“寮の有無”は重要な決定ポイントです。この寮の整備状況は、市内・岐阜・西濃の企業が25%強、愛知県の企業が70%弱と、大きく差があり、保護者が“うん!”と言わないポイントになっています。今後の少子化社会の進行で、従業員をより広域から確保しなければならなくなる将来を見据えた時、福利厚生の充実は重要なポイントになってきます。その他に、企業内学園も、愛知県では19企業が保有しているなど、優秀な工業高校生が愛知県に流出する要因になっています。毎年、県内工業系高校からは50名を超える生徒が、愛知県の企業内学園へ就職しています。

今年度の、自社の“生徒にとって唯一の求人情報源・求人票”の記述内容や記述量、高校への提出方法等を振り返って頂き、来年度の求人活動の戦略を練って頂ければと思います。

(文責：産業活力部商工振興課 企業人材全力応援室長 長屋千秋)



俺んたのまち ～地域を代表する存在 FC 岐阜～ エピソード2

2017年12月3日(日) 豊田スタジアム J1昇格プレーオフ決勝
名古屋グランパスVSアビスパ福岡

グランパスホームの豊田スタジアムには今季最多となる約3万8千人のサポーターが駆け付けた。試合は0-0のスコアレスドロー。引き分け同点の場合はリーグ戦上位を勝者とする規定により、1年でのJ1復帰が決まった。

試合終了と同時にその瞬間(J1復帰)、名古屋グランパスのユニフォームで真っ赤に染まったスタンドが喜びに大きく沸きました。FC岐阜も数年後には同じステージで試合をし、スタジアムを緑のユニフォームで埋め尽くしたいと思うし、それはきっと実現する。10年前はJ1で優勝したことのある名古屋グランパスとJ降格・運営危機のあったFC岐阜が公式戦(リーグ戦)で対戦できるなんて思いもしなかったが、今季初めて実現した“名岐ダービー”。そんな注目の一戦に、クラブ史上最多の1万7027人が「熱狂スタジアム」長良川競技場に詰め掛けた。だからきっとFC岐阜もJ1昇格プレーオフに進出、J1昇格するに違いない。その為にも俺んたのまち、地域を代表するFC岐阜をこれからもサポート(応援)し続けようと思う。

1993年、日本に初のプロサッカーリーグ(Jリーグ)が発足し、サッカー界に大きな発展をもたらし、日本全国にプロサッカークラブが誕生しました。岐阜もそれまで岐阜のサッカー文化を牽引し、JFLで活躍健闘し続けていた西濃運輸サッカー部が解散、岐阜県を代表するサッカーチームがなくなった現状を危惧し、岐阜県サッカー協会などの後押しを得て、FC岐阜は2001年4月に設立されました。チーム発足後、2002年に民営母体となるスティックルバック・スポーツクラブ(SSC/大垣市)が岐阜県サッカー協会、岐阜経済大学教職員、学生、民間有志を中心に結成され、その後、2006年にはトップチームを運営する為、株式会社岐阜フットボールクラブが設立、2007年に日本フットボールリーグ(JFL)に昇格すると、その年に3位以内に入り、Jリーグへの昇格を決めました。2007年J2昇格、2008年より、念願のJリーグでの戦いが始まり、J1昇格に向け新たな挑戦が始まりました。それから10年。現在FC岐阜は、トップからアカデミーまでのサッカー選手を育成するとともに、岐阜県内の様々なスポーツの普及に力を入れ、活動しています。また、地域貢献活動や社会貢献活動を積極的に行い、真に地域に密着した愛されるクラブを目指し活動を続けています。

ホームゲーム開催日には、ホームスタジアムに多くの人びとが集まり賑わい、お腹の底から大声を上げて、我がまち「岐阜」の名前を叫んで応援する。地域を代表する存在だからこそ、クラブが地域に根差し、人々に愛され、かけがえのない存在となり、ファン・サポーターの心を打ちます。自分たちが住んでいるまち「岐阜」を誇りに思います。『自分が暮らしている地域にみんなで応援できるスポーツのチームがある』

「熱狂スタジアム」を原点に、笑顔や喜びの輪を広げることは、Jリーグ百年構想の実現にほかなりません。

ピッチでのレベルの高い真剣勝負。スタンドで熱い声援を送るファン・サポーター。今では「熱狂スタジアム」の光景も、各地でお馴染みとなっています。また、その一方でJリーグの目標の一つである「サッカーのクラブを核とし、誰もがそれぞれの興味、レベルに応じて、さまざまなスポーツを楽しめる環境の整備」というのがあります。各クラブは、それぞれのホームタウンを中心に、誰もが年齢、体力、目的などに応じてスポーツを楽しめる環境をつくるという「Jリーグ百年構想」の実現に向けて、着実に成果を挙げてきました。環境の整備「施設」は、スポーツの機会を提供するだけでなく、地域の人々との交流の場を提供することにもなります。そのモデルは欧州、特にドイツのスポーツ環境でした。

1960年、東京オリンピックを4年後に控えた日本のサッカー代表チームは、西ドイツ(当時)にて強化合宿を行いました。そこで選手たちが目にしたのは、当時の日本のスポーツ環境とは全くかけ離れた光景でした。

『白樺の林に囲まれた緑のピッチに同じ施設に合宿中の子どもたちが元気にボールを追い、アリーナでは車椅子の人々が球技に興じる』

それは驚きを通り越し、衝撃ともいえる体験でした。ドイツではどんな「まち」にもスポーツクラブがあり、そこでは、老若男女それぞれのレベルに応じて好きなスポーツを楽しみ、地域における人々の交流の拠点となっています。それこそが「Jリーグ百年構想～スポーツで、もっと、幸せな国へ。～」というスローガンの原点です。

Jリーグ百年構想 ～スポーツで、もっと、幸せな国へ～

誰もが気軽にスポーツを楽しめるような環境が整ってはじめて、豊かなスポーツ文化は育まれます。そのためには、生活圏内にスポーツを楽しむ場が必要となり、そこには、緑の芝生におおわれた広場やアリーナやクラブハウスがあります。誰もが、年齢、体力、技能、目的に応じ、優れたコーチのもとで、好きなスポーツを楽しむ。

「する」「見る」「支える」、スポーツの楽しみ方も人それぞれ。世代を越えたふれあいの輪も広がっていきます。自分が住んでいる町に「地域に根ざしたスポーツクラブ」があれば、こんなスポーツライフを誰もが楽しむことができます。

【百年構想】

- ◇あなたの町に、緑の芝生におおわれた広場やスポーツ施設を作ること。
- ◇サッカーに限らず、あなたがやりたい競技を楽しめるスポーツクラブをつくること。
- ◇「観る」「する」「参加する」。スポーツを通して世代を越えたふれあいの輪を広げること。

Jリーグ百年構想～スポーツで、もっと、幸せな国へ～ より

雪坊主



わたしのお薦め！

「AIの遺伝子(全8巻) これぞ近未来版ブラックジャック!」

シンギュラリティ(技術的特異点)以降の世界を舞台にした近未来SFで、AI(人工知能)を搭載したヒューマノイドを治療する医者・須藤を主人公に、さまざまな患者とのドラマがオムニバス形式で描かれている。医療系ストーリー特有の「愛」「友情」「家族」をベースに次々と繰り出される、道徳的、倫理的、法的な問題提起の数々は尋常ではない。AIが実用化されれば、必ずや実世界において問題となりうる話を先取りしている。

個人的に最も考えさせられたセリフを第7巻より抜粋!

「悪いとされる事が増えて行くのさ、車の運転が良い例だ。今じゃ自分で車を運転する奴は人殺し呼ばわりだ、いずれ人間でいること自体が悪になる…そうやって悪の障地が減って行って1つも無くなった時、残っているものはもう人間じゃない。それはかつて人間だった何かだろう…」

第一部は完結し、現在第二部「AIの遺伝子 RED QUEEN」が10月より連載開始した。

AIや人間の存在価値を問う意欲作になりそうで楽しみにしている(笑)



著者 山田胡瓜
発行 秋田書店
各巻価格 463円(税別)

女性が気にされる疾病について

女性のライフステージはエストロゲン、プロゲステロンという女性ホルモンの分泌と大いに関係があります。主として思春期、性成熟期、更年期、老年期の40年以上の間にレベルが大きく変化し、特に閉経数年前より分泌が大きく揺らぎメンタルにも影響し、様々な症状が表に出てきます。その中で気づかれにくい疾患としては過活動性膀胱と骨粗鬆症があります。過活動性膀胱は50歳以上の女性では7～8人に一人が患っているようです。尿意の切迫、頻尿、尿失禁が強くなれば膀胱訓練や場合によっては抗コリン剤の服用が必要になりますので躊躇しないで専門医に相談して下さい。さて骨粗しょう症に移りましょう。介護保険申請せざるを得なくなった原因を見ると平成25年では4番目が転倒骨折ですが、その原因が骨粗しょう症で腕の付け根、頸椎、脊椎、足の付け根、中でも大腿部近位は整形外科全国調査では立ったところからの転倒で起こるようです。転倒場所も意外と居室、寝室、など玄関など居住場所で6割を超えており注意が必要です。60歳以上の女性では男性の3倍以上の900万人を超えているようです。最近背が低くなった、背中が丸くなったと感じる人や喫煙、過度の飲酒、偏った食事、痩せ(BMIが18.5未満)、ステロイド薬の長期使用、家族歴がある人は早めにQUS法、DXA法などの検査を受ける必要がありますよ。検査結果はかかりつけ医や専門医に見せて適切な指導を受けてください。予防は生活習慣の改善は言うまでもありませんが、食生活の見直しが重要です。カロリー、たんぱく質を適正に食品の種類をおおくまんべんなく摂ること、中でもカルシウム、ビタミンD、K、CそしてB群を積極的に摂りたいのですが、リンを多く含む加工食品、インスタント食品、食塩、カフェイン、アルコールなどの摂りすぎには注意をしなければなりません。ここでは3要素のカルシウム、ビタミンD、ビタミンKについて述べておきます。1：カルシウム 骨を作る材料です。厚生省は中高年では一日650～700mgを推奨していますがなかなか到達していません。40%の日本人では充足必要量の80%以下で先進長寿国の中でも最低レベルです。乳製品、大豆製品、海藻、小魚などが推奨されます。最近納豆がすすめられていますね。2：ビタミンD カルシウムの吸収を助けます。なかなか充足しにくくサプリメントに頼られがちです。ビタミンDの豊富な食品としては、まぐろ赤み、さけ、サバ、卵黄、しいたけなどがあげられます。3：ビタミンK カルシウムを骨に沈着させ強くします。納豆、小松菜、ブロッコリー、ホウレンソウ、ニラなどが勧められます。

(ちょっと一言 最近足の血管がボコボコとうきあがったりむくんだり、つったり、痛みを感じたりすることはありませんか。下肢静脈瘤ですよね。これも女性に多い疾患ですが、特に左右で違いがある時には大きな疾病が潜んでおり、精密検査が求められます。この頃は男性にも増え、10人に一人とも言われています。)

安藤内科医の記事を転載

吸収率順カルシウムの多い食品



行事予定

2018 1 January

1月 『元日』	16 火 岐阜信用金庫 各務原エリア4店舗合同新年会 (KS会) 情報セキュリティセミナー(岐阜県経営者協会)
2月 『組合休日』	17 水
3月 『組合休日』	18 木
4月 『組合休日』	19 金 タブレット活用体感セミナー((公社)日本電信電話ユーザー協会) 会社を守るための労働組合対応セミナー(愛知県経営者協会)
5月 川崎岐阜(協)新年互礼会 『組合休日』	20 土
6月 『組合休日』	21 日 『組合休日』
7月 『組合休日』	22 月
8月 仕事始め 『成人の日』	23 火 第1回アイデア懇談会((一社)岐阜県発明協会) 女性活躍推進セミナー第2講(県経営者協会)
9月 南宮大社初詣・神事並びに新年互礼会(南宮大社8:45出発)	24 水 ビジネス構想策定入門無料体験セミナー (産業能率大学総合研究所) モノづくり経営塾(岐阜県庁)
10月 各務原商工会議所 平成30年新年互礼会	25 木
11月	26 金 雇用・人材育成推進協議会懇親会 (各務原市雇用・人材育成推進協議会)
12月 平成30年岐阜県下財界新春懇親会	27 土 団地G 『組合休日』
13月 『組合休日』	28 日
14日	29 月
15月 青年部役員会&全体会議	30 火 各務原十六総会・各務原市内合同十六講演会および新年互礼会 新春経営者懇談会(岐阜県経営者協会西濃支部)
	31 水

交通遺児激励募金にご協力ありがとうございました

ご協力いただいた企業は、以下の通りです。(順不同)

岐阜愛知電機(株) 三島精器(株) (株)亀山鉄工所 (株)中川製作所 三星工業(株) (株)杉山 (株)三機
東海ダイカスト工業(株) 今井航空機器工業(株) ホラタ、工業(株) (株)樋口製作所
岐阜県金属工業団地(協)

■ 12月度金属団地ゴルフ会

12月16日 ■ 長良川カントリー倶楽部

優勝 林 宏守(中日鋼線) 2位 松原伸五(MTK) 3位 三島基成(三島精器)

<http://www.g-mecca.jp>

G-MECCA

GIFU METAL ENGINEERING COMMUNITY COOPERATIVE ASSOCIATION

